

---

# If/ もう一度。

蘭奇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

If / もう一度。

### 【Zコード】

Z6444

### 【作者名】

蘭奇

### 【あらすじ】

男は、真昼の丘の上で  
懐かしい夢を見る。

蘇る遠い日の思い出。

男はあの日言い残した言葉を  
空に向かつて放つ。  
空が、「あいつ」が  
聞いてくれていると信じて。



(前書き)

グダグダですが読んでくれたら嬉しいです。  
読んでくださつた方は  
レビュー、感想などいただけると  
更に嬉しいです(笑)

私を置いて行くんだもの。

浮氣なんてしねや駄目よ。

さつと、自分の道を貫こうださーい。

わっとい、わっといよ。

今でも

忘れたことは無い。

もしもしあいつを受け入れていれば。

あの時、もしもしあいつを否定しなければ。

もし、あいつが俺に出会わなければ。

いくらもしを重ねても

もう戻れない。

だから後悔はしない。

でも、

「もし」、もしもあの日に戻れるなら

伝えたいことがある。

たとえ、この言葉で

あいつの未来を変えられなくても。

たとえ血口満足だとしても。

「 」

たつた5文字の言葉。

男が放つたその言葉は

やがて空に吸い込まれた。

透き通るよつたただ真つ青な空。

男の真上でじりじりと

ただ男一人を焦がすために

太陽があかく燃える

雲一つ無い、真っ青な空だった。

太陽と月が交代した頃、

「あれ?? 雨でい。」

江戸中を雨が包んだ。

(後書き)

読んでいただきありがとうございました。

土方と沖田が大好きで

これを見て更に好きになりました。

ミツバ編は銀魂の中でも

一番好きた言ひへじい

大好きなんで、是非、本編の方も・・・

て、言つても本編の内容とは

全くと言つていいほど

かぶつてないんですが。

温かいめで見守つていただけすると嬉しく思います。

ちなみにこの物語?のイメージは

雪のツバサです。

凄く良い歌なんですかんも

聞いてみてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n64441/>

---

If/ もう一度。

2010年10月10日04時47分発行